

委員会研修報告

各常任委員会が先進地などを調査しました。

産業建設委員会

里見が丘公園について

昨年7月に、北海道足寄町の里見が丘公園について行政視察を実施しました。

昭和51年から整備事業を開始し、総事業費約40億円で野球場やキャンプ場、パークゴルフ場など面積48ヘクタールの総合公園を整備しています。

今回の視察では、主にフラワー園の整備事業の経緯や維持管理など、また平成25年度から実施されている再整備事業を中心に視察を行いました。

フラワー園では、約6600㎡に芝桜を植栽し、花まじりの時期には多くの観光客が訪れ、観光名所の一つとなっています。



芝桜の植栽がされる里見が丘公園

民生文教委員会

高齢者の見守りを兼ねた買い物支援について

昨年11月に、群馬県高崎市へ行政視察を行いました。

同市は、古くから交通の要衝で、中心地域は市街地化が進んでいる一方、周辺部は中山間地が広がっています。

本市同様、高齢化が行政の課題となっており、特に中山間地域の高齢化が顕著で、かつ

地域内に商店がないことから、生鮮食料品等の日常的な買い物に支障をきたしている高齢者を支援するため、高齢者の見守りを兼ねた移動販売を行う事業者に対する運営費等の補助を行っています。

また、日常的な買い物に不便や苦勞を感じている高齢者を支援するため、地域内の商店または最寄りのバス停まで送迎する運送サービスも行っています。



移動販売車

総務財政委員会

ふるさと未来づくりの取り組みについて

昨年11月に、三重県伊勢市へ行政視察を行いました。

伊勢市では、少子高齢化が進み、共働き世帯や核家族化の進行による世帯構造の変化、地域のつながりの希薄化、さらには、地域活動の核である自治会の加入率の低下や役員の高齢化などの地域の課題を解決するため、各地域が「自分たち

の地域は自分でつくる」という考えの下で、自治会を核にしながら、概ね小学校区を単位として「地区みらい会議」を設立し、地域の実態に即した新たな地域自治の仕組みづくりが進められています。

今回の視察では、新たな地域自治の仕組みづくりを導入するに至った背景やこれまでの取り組み、そして今後の方向性や課題を中心に視察を行いました。



説明を受ける委員